

令和元年8月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
日本国際ボランティアセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名: 2018年度SB.Heart Station活動報告会 ゲスト講演
- 企画実施概要: ①実施内容: 主題団体の活動報告会において、特に東南アジアにおける日本の国際協力活動の役割を伝えるために、当団体理事を派遣する。
②対象者および参加人数: 該当報告会参加者ならびに主催団体職員約40名

2 出張者氏名 今井 高樹(代表理事)

3 依頼元／主催団体名 SB. Heart Station

4 実施予定日時 令和元年7月19日 (金) 14:30～16:30

5 実施場所 大宮ソニックシティ 8階 809会議室(住所: 埼玉県さいたま市)

6 実施報告

- ・該当企画において、日本の国際協力団体が途上国の社会環境改善に対して果たす役割について、主に当団体の活動を事例として紹介した。
- ・対象である参加者からは、「小学校の教員だが、学校でもぜひこのような話を聞かせたい」「ボランティアの言葉の奥深さを知ることができた」「現地のリアルな状況と支援活動を具体的にお話いただいたので満足できた」などの感想をいただいた。

7 写真

	
講演の最後に本制度のチラシを使って制度説明を行った(チラシは当日参加者にも配布した)。	参加者は国際協力に関心の高い層が集まっていた。

(写真1)

(写真2)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： カワサキインターナショナルフェスティバルにおける相談対応
企画実施概要： ①実施内容
 国際協力・国際理解に取り組んでいる団体や外国人市民が出展するイベントで、国際協力、開発教育や国際理解教育に関する相談ブースを出展した。
 来場者（川崎市の住民や学生等が中心）からの国際協力に関する質問だけでなく、開発教育や国際理解教育に関する教材・資料等の照会にも対応した。

②対象者および参加予定人数
 川崎周辺のフェアトレードや国際協力に興味のある市民 約1,000名

2 出張者氏名

岩岡 由季子

3 依頼元／主催団体名

川崎市国際交流センター

4 実施予定日時

令和元年7月7日（日） 10:00 ～16:30

5 実施場所

川崎市国際交流センター（住所：神奈川県川崎市）

6 実施報告

・ブースを出展し、開発教育や国際協力・国際理解に関する相談対応を実施した。国際理解を授業に取り入れたい学校教員や国際協力に興味がある高校生・大学生がブースを訪れ、適切なイベント・団体、教材等を紹介した。
 ・ワークショップでは世界と日本のつながりや多様性を体験できる「世界一周！旅行ゲーム」を実施した。小さい子どもから大学生、親子連れの参加が多かった。参加者からは「ゲームを通して世界のことを知ることができた」「クイズが楽しかった」という感想があった。

7 写真



ブースでの相談の様子

(写真1)



ワークショップの様子

(写真2)

以上

令和元年11月6日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益社団法人
日本国際民間協力会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名：『Summer ジングルウィークwithホノルルコレクション
Live Do You KYOTO? 2019』

企画実施概要：①実施内容：NGO相談員ブースを出展し、国際的な環境問題や人道支援について、市民からの質問や相談に応える。
②対象者および参加人数：一般市民を対象に2日間で約40名がブースを訪問し、相談対応を行った。

2 出張者氏名 2019年7月14日北垣 健太、7月15日大豊 盛重

3 依頼元／主催団体名 特定非営利活動法人ジングルウィーク実行委員会

4 実施予定日時 令和元年7月14日 (日) 10:00～18:00
令和元年7月15日 (月) 10:00～18:00

5 実施場所 ゼスト御池河原町広場 (住所：京都府京都市)

6 実施報告
・イベントを訪れた市民から、「シリアでは今現在でも悲惨な環境に置かれた人たちが数多くいることに気づかされた」との声が聞かれた。
・本イベント主催団体スタッフは「NGO相談員制度や日本のNGOの活動内容など初めて聞くことばかりで驚いた。NGOはこんなに多種多様な活動をしている」
・イベントを訪れた大学生は「漠然と海外で働きたいと考えていたが、国際協力という選択肢もいいなと思った」と語った。

7 写真



相談員ブース前で、利用を促す北垣

(写真1)



ブースを訪れる市民から寄せられる国際協力についての質問に対応した。

(写真2)

以上

令和元年7月26日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
関西NGO協議会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名：**国際協力に関する講演「持続可能な開発目標（SDGs）とNGOの役割」
- 企画実施概要：**
- ①SDGsを軸に、国際協力の潮流や我が国の取り組み、地域のNGOの活動を紹介。SDGsや国際協力を自身の生活に引き寄せて考える機会を提供する。
 - ②これからの日本の多文化共生社会づくりや国際協力活動を担う若者を対象に、SDGsの達成に向けた取り組みや国際協力活動への理解と参画を促進する。

2 出張者氏名

岩根あずさ

3 依頼元／主催団体名

大阪大学 林田雅至 教授

4 実施予定日時

令和元年7月16日（火） 16：20～17：50、18：00～19：30

5 実施場所

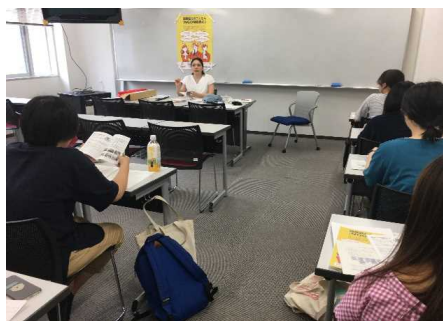
大阪大学箕面キャンパス（住所：大阪府箕面市粟生間谷東8-1-1）

6 実施報告

SDGsを紹介しながら、国際協力の潮流や日本国の取り組み、地域のNGO活動の紹介を行った。SDGsについて一部を除きほとんどの学生が詳しくは知らない中、関西や大阪に特有の課題とSDGsの関連を紹介することで、SDGsに関する理解を促した。また、地域のNGOの活動に言及することで、国際協力が身近に行われている活動であることも紹介した。授業後半では学生から質問があり、「どのようにすればNGOの活動に参加できるか」「SDGs達成に向け学生のうちに取り組めることは何か」「日本国内の労働者の人権の問題とフェアトレードなど類似性のある問題を引きつけながら、自分ごととして国際課題を考えていきたい」といった質問や意見があった。

参加者：大阪大学の学生40名、教員1名

7 写真

	
学生の質問に答えている様子	講義風景

（写真1）

（写真2）

以上

令和元年7月8日

外務省国際協力局民間援助連携室

公益財団法人PHD協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名：

企画実施概要：

①実施内容

国際ロータリー第2680地区の米山記念奨学セミナーにて国際協力に関する講演を行う。内容は国際協力概論を中心とし、NGO相談員事業のPRも行う。

②対象者および参加人数

ロータリークラブ会員、米山記念奨学生、計203名

2 出張者氏名

坂西 卓郎

3 依頼元／主催団体名

国際ロータリー第2680地区 米山記念奨学会

4 実施予定日時

令和1年7月7日（日） 14:00 ～ 16:45

5 実施場所

神戸学院大学 ポートアイランドキャンパス D201教室
(兵庫県神戸市)

6 実施報告

独自の国際協力活動をされているロータリークラブのメンバーにNGO相談員として国際協力活動の一例を報告させていただいた。また世界経済フォーラムが発表しているジェンダーランキングを用いて、国際協力概論を講演した。

国際ロータリークラブは7月からが新年度となる。今回は新年度に委員及びカウンセラーになられたロータリアン、及び奨学生の方々が対象であった。奨学生は国際色豊かで12ヶ国、29名であった。

今回の目的であった「国際協力の概要を伝える」、「NGO相談員制度のPR」については、講演終了後に「大変良い内容だったので、うちのクラブでも講演してほしい」という要望を受けるなど、良い感触を得ることができた。ロータリアンという社会的に影響のある方々にNGO相談員制度のことを知ってもらうことができたのは有意義であったと思われる。

7 写真



(キャプション) NGO相談員制度及び外務省との連携について説明しているところ

(写真1)



(キャプション) 会場の様子、ロータリークラブの会員（新年度役員）及び奨学生が兵庫県各地から集っていた

(写真2)

以上

令和1年11月6日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益財団法人PHD協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 御所の杜学童クラブでの国際協力と文化に関する講演

企画実施概要： ①実施内容
アジアの国の村の様子、課題についての講演。またアジアの衣食住、歌、踊りなどの文化の紹介をした上で、子ども達からの質疑応答の時間を設けた。

②対象者および参加人数
御所の杜学童クラブの小学1年生から3年生（30名程度）

2 出張者氏名 山本 健太郎

3 依頼元／主催団体名

4 実施予定日時 令和元年7月26日（金） 14：30 ～ 15：30

5 実施場所 御所の杜学童クラブ（京都市中京区柳馬場通二条下ル等持寺町15）

6 実施報告 御所の杜学童クラブで小学校1～3年生を対象に国際協力と国際理解をテーマに講演を行った。内容としては当会のインドネシア研修生に質問を投げかける「対話型形式」で講演を進めた。研修生の村の生活の様子を聞き出した。地域が現在抱えている課題を明らかにし、それらの課題を克服するために日本に来て実地研修を受けて、その学びを自身の村・地域に持ち帰り還元していくというPHD協会の国際協力のシステムをわかりやすく説明した。

さらに講演後には子どもたちから研修生やその生活に関する質問を受け付け、当会研修生を交え、子どもたちが関心を持っていることを掘り下げるようにした。生活面や社会面で日本では当たり前のことがアジアの途上地域ではそうでないと知って驚く子どもたちの様子から国際理解や文化への関心が少しでも広まったと考える。

7 写真



NGO相談員制度についての説明を行った。

（写真1）



御所の杜学童クラブの講演の様子。研修生出身国の村の様子（衣食住含む）や課題について、対話型形式で講演を進めた。

（写真2）

以上

令和元年8月9日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
AMDA社会開発機構

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 広島修道大学国際コミュニティ学部国際政治学科 「国際NGO論」

企画実施概要：

①実施内容

途上国の現状と日本が関わる支援活動についての講演

②対象者および参加人数

「国際NGO論」履修学生、その他関心のある学部生と学外の方、計 60 名

2 出張者氏名 山上正道

3 依頼元／主催団体名 広島修道大学国際コミュニティ学部国際政治学科

4 実施予定日時 令和元年7月2日（木） 14:50 ～ 16:20

5 実施場所 広島修道大学 大塚キャンパス(広島県広島市大塚東 1-1-1)

6 実施報告

- ・ SDGsのそれぞれの目標に対しどのように取り組まれているのか具体的に学ぶことができた。
- ・ NGOの活動が多岐にわたることを知りました。
- ・ NGOについて勉強してきたが、実際の活動の話を聞けてリアルに感じることができた。

7 写真

	
講演の様子	NGO相談員

(写真 1)

(写真 2)

以上